

KeeperのテレビCMを『臨時放映』

2022年12月のキーパー選手権の緊急支援策として、11月中旬～12月いっぱいにかけて、「めざましテレビ」の朝7時台に、KeeperのテレビCMを、下記の「都道府県・局・毎週同じ曜日」に臨時放映します。

放映するテレビCMは、実績のある「キーパーコーティング キレイへの挑戦」30秒版です。



“11月中旬”から放映スタート

都道府県	局名	曜日	都道府県	局名	曜日
秋田県	秋田テレビ	(木)	福井県	福井テレビ	(金)
岩手県	岩手めんこいテレビ	(火)	岡山県	岡山放送	(月)
山形県	さくらんぼテレビ	(金)	香川県		
長野県	長野放送	(木)	広島県	テレビ新広島	(木)
静岡県	テレビ静岡	(水)	愛媛県	テレビ愛媛	(木)
愛知県			高知県	高知さんさんテレビ	(木)
岐阜県	東海テレビ	(木)	佐賀県	サガテレビ	(金)
三重県			長崎県	テレビ長崎	(木)
石川県	石川テレビ	(火)	鹿児島県	鹿児島テレビ	(木)
富山県	富山テレビ	(月)			

“12月”から放映スタート

都道府県	局名	曜日	都道府県	局名	曜日
和歌山県			北海道	北海道文化放送	(木)
奈良県			福島県	福島テレビ	(木)
滋賀県			新潟県	新潟総合テレビ	(金)
京都府	関西テレビ	(金)	福岡県	テレビ西日本	(木)
大阪府			熊本県	テレビ熊本	(火)
兵庫県					
徳島県					

下記の県は、11月・12月のCM放映枠を確保出来なかったため、申し訳ありませんが、臨時放映をすることが出来ません。

青森県	宮城県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都
神奈川県	山梨県	鳥取県	高知県	山口県	大分県	宮崎県	沖縄県

技術情報

フレッシュキーパー・ECOダイヤ・EXキーパーの

ミネラル取り洗車は、「ミネラルオフ+キーパークロス」でできます。

ミネラル取り洗車とは、キーパーコーティング施工車の洗車の最終拭き上げで、水はじきを邪魔する汚れ(ミネラル汚れ)を取るメニューです。

フレッシュキーパー、ECOダイヤ、EXキーパーは、ミネラル汚れがととても付きにくいので、通常は洗車後にキーパークロスでコーティング表面をよく拭き取るだけで、十分に水はじきが元に戻ります。万一、比較的頑固になったミネラル汚れが付いている場合でも、「キーパークロスに少量のミネラルオフを付けてよく揉み込んで拭き取る」「ミネラル取り洗車」で簡単に除去することができ、水はじきが確実に復活します。

【作業手順】

- 1 洗車する
- 2 拭き上げ作業のキーパークロスに、少量のミネラルオフを付ける
- 3 ミネラルオフをキーパークロスによく揉みこむ
- 4 洗車の拭き上げをしながら、ミネラル汚れをかき取る
(ボディにミネラルオフが残った場合は、最終仕上げで拭き取る)



SUPER GT 2022

#37 KeePer TOM'S GR Supra

度重なるアクシデントがあるも

14番手から8ポジション上げ6位でゴール



ポイントランキングの上位6台がチャンピオン獲得の権利を有して参戦。#37はランキング5位。トップからは20点と大きく離されているものの、予選と決勝の展開如何では、チャンピオン獲得のチャンスが消えたわけではない。可能性を信じて乗り込んだ予選だったが、15台中14位という厳しい結果に。しかしチャンピオンの可能性は残っている。ひたすら上位を目指し、順位アップを狙う決勝。序盤はスタートポジションをキープ。8周目のマルチクラッシュを避けて、ポジションを上げた。レースの序盤で度重なるアクシデントが起こって荒れたレース展開だった。その状況下で生き残ってポイント獲得圏内へ進出。フルコーススイエロー、セイフティカーが導入され、リスタートがレースの3分の1を過ぎていたので、全体の流れと同調してピットイン、ドライバー交代。ロングスティントとなった中で順位アップに成功。6位ゴールとなった。14番手グリッドから8ポジション上げるという結果だった。

第8(最終)戦 / 11月5日(土)・6日(日):モビリティリゾートもてぎ

#61 SUBARU BRZ R&D SPORT

マシントラブルで、決勝は無念の20位フィニッシュ。

シリーズ2位で今季を終える



前日の予選でクラッシュをし、マシンの修復は夜を徹して行われた。決勝レースは、ぶっつけ本番。唯一レースが始まる前の20分間のウォームアップ走行ですべてのマシンチェックをする。ところが、アウトラップを走行しただけでピットに戻り、ピットアウトすることができなかった。原因はターボラグを解消するためのアンチラグシステム周辺のトラブル。決勝レースが始まる直前に部品を交換し、スタートに間に合わせる。決勝は井口卓人選手が16位からのスタート。3周を終えたあたりでマシンの不調が伝えられる。直前に対策した機器類のトラブルで、エンジンパワーがダウン。井口選手は順位をキープすることができず、22位まで順位を落として山内英輝選手と交代。山内選手は追い上げを開始。規定のピットインをしていないチームが続々とピットに入る中、徐々にポジションを挽回し、13位に。しかし、最終の60周目はガス欠を起こしチェッカーを受けることができず20位で最終戦を終えた。

【お願い】12月、早めのご注文をお願いいたします

12月に入った月初の数日間は、特にご注文が集中いたします。当日13時までにはいただきましたご注文分において、翌日(翌営業日)または翌々日(翌々営業日)の発送となることが予想されます。お早めにご注文をさせていただきませう、ご協力をよろしくお願いいたします。